

2023.12.01

発行人：八幡平市地域活性化企業人 鈴木彩香
八幡平DMO(専門家派遣・非常勤) 平井優美

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木第一地割590番地497

(ノーザングランド八幡平内)

◆「事業推進に係る（仮称）地域連携懇話会」を開催

「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」モデル観光地事業に関して、11月22日「事業推進に係る（仮称）地域連携懇話会」を開催しました。

観光庁、東北運輸局の担当者をはじめ、環境省、青森県、秋田県、岩手県のインバウンド担当課や3県の広域DMO、各広域・地域のDMO、交通関係者、民間事業者など、リアル・オンライン参加合わせて**70名以上の方にご参加**いただき、今後の連携に関し情報共有・意見交換を実施しました。（畑）

◆「山弁」事業に関する今年度の取り組み報告

冷凍で保存でき、自然解凍でOK、トレッキング等の昼食用に持ち運び便利な「八幡平山弁」の開発にあたり、昨年度に引き続き、試作や運送方法の検討を重ねてきましたが、自然解凍時のご飯（白飯）の食味に関して納得のいくクオリティを満たすことができず、**今年度販売開始は見送る**こととなりました。

満足できるおいしさをご提供するため、引き続き検討を重ねてまいります（畑）

◆業界最大の国際商談会「Visit Japan Travel & MICE Mart」に参加

2022年、2023年にシドニーで開催された「Snow Travel Expo Sydney」への参加し、八幡平DMOは日本政府観光局（JNTO）が毎年開催する業界最大の国際商談会「Visit Japan Travel & MICE Mart」に参加しました。今年はインテックス大阪で、4年ぶりに対面方式でリアル開催されました。

新たなビジネスパートナーの発掘を目的に、当初**33社**との商談を予定して市内観光事業者と共に参加、開催日前日に2社より欠席の申し出はあったものの、当日は**去年より8社多く、23カ国と商談**を行いました。今回の商談会が新たなビジネスチャンスとなるよう、継続的に連絡を取り合いたいと考えています。（オバイア）

■「Visit Japan Travel & MICE Mart」

開催日：2023年10月26日～28日

会 場：インテックス大阪

参 加：海外バイヤーは270名／日本国内セラーは300社・団体程度の旅行関連企業

八幡平から参加：東北リゾートサービス株式会社／安比高原リゾート／安比マウンテンリゾート

商談内訳：豪州2社、台湾1社、中国5社、シンガポール1社、インドネシア2社、タイ3社、インド1社、フィリピン1社、ブルネイ1社、カナダ2社、イタリア1社、フランス1社、ドイツ1社、イスラエル1社

◆焼走り国際交流村「癒しの星灯り」イベントを行いました

11月18日(土)に、第二回「癒しの星灯り」イベントを焼走り国際交流村主催で実施、八幡平DMOはPR等協力をさせて頂きました。今回の星座テーマは「しし座流星群」。八幡平にとって閑散期にあたる11月に、宿泊を誘客できるイベント造成を試すべく、流星群に着目し、日程の設定しました。

前回イベントで大好評だった「八幡平マッシュルームスープ」の復刻や、星座の講座などご準備を頂きましたが、なんと当日は焼走り一帯で降雪。夜には車に積もった雪下ろしが必要な天候で、イベントの参加者は非常に少ないものとなりました。一方で、八幡平メルマガによるイベント告知・宿泊プランの案内から予約は（イベントとは別日であるが）入ったと思う、との報告を頂きました。また、今後も館内装飾は継続的に使用予定とのことです。

星空をテーマとした誘客の難しさを実感しつつ、けれど八幡平訪問者の、星空観察への希望が多いのは事実なので、事業者が無理なく継続できる範囲で、引き続きご協力できればと思っています。（鈴木）

◆安代マルシェにイベントの運営にボランティアで関わらせて頂きました

安代地区の若手の事業者たちで安代地区の活性化に取り組むichibizmが、10月29日(日)に荒屋新町駅前
で安代マルシェを実施しました。

これは荒屋新町100周年に向けたイベントで当日は出店やショーだけでなく、地域の子供達とDIYで
地域の展示スペース等を設置した駅舎のリニューアルのお披露目も行われ、あいにくの雨天にも関わらず、
市長をはじめ多くの市民で賑わいました。

全国では物見遊山型の観光から、地域の暮らしや文化、住民と交流する観光のニーズが高まる一方で、
観光が地域の暮らしに迷惑をかけるオーバーツーリズムも問題になっています。八幡平DMOでは、地域
にとっても訪問者にとっても心地よい観光の在り方を模索する為に、こうした地域の暮らしや生活に寄り
添ったイベントにも関わり、地域との対話を深めていきたいと考えております。(柴田)

